

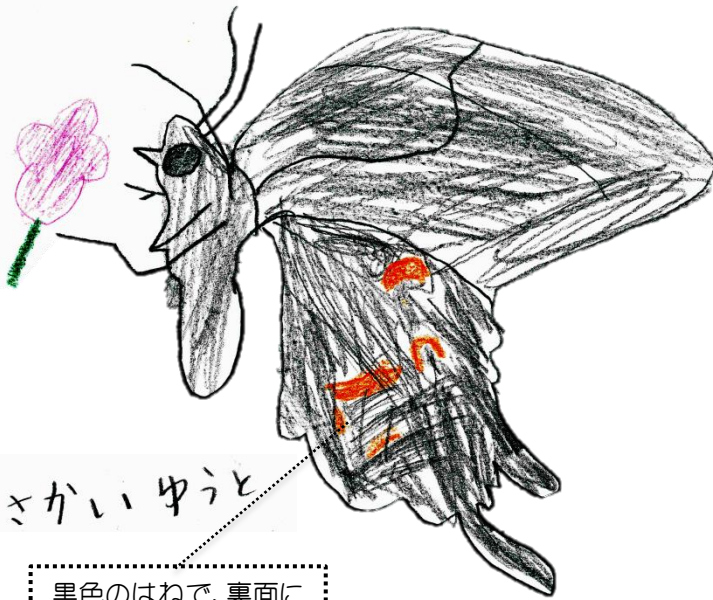


しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年6月号 No.379

小鳥の森で観察してみよう 68

クロアゲハ



さかい ゆうと

黒色のはねで、裏面に赤いもようが並ぶ

はねを広げた大きさ：80～120mm

生態：春にうまれる春型と夏にうまれる夏型がある。
春型の方が小形で、黒色が濃く、赤いもようがはっきりとしている。
幼虫はかんきつ類の葉を食べる。

小鳥の森での観察：

小鳥の森では、観察広場や旧棚田などで、ヤマツツジの花の蜜を吸いにやってくる様子を観察することができる。

今回の絵は、さかい ゆうとさんが描いてくれました。

6月の自然予報

6月に入ると、旧棚田周辺の水辺では、色々なトンボを観察することができます。

昨年の記録を見るとオオシオカラトンボやハラビロトンボ、ショウジョウトンボなどが確認されました。

また、その他にも早めに羽化するシオヤトンボやモートナイトトンボといった種類も同時に観察することができるでしょう。

ただし、小鳥の森では虫を持って帰ることはできませんので、観察したら逃がしてあげてください。また来年も同じようなトンボが見られるといいですね。

2016/6/5	モートナイトトンボ
2016/6/5	オオシオカラトンボ
2016/6/10	ハラビロトンボ
2016/6/10	ショウジョウトンボ



オオシオカラトンボ



ハラビロトンボ

5月の自然

5月に入り、サンコウチョウやホトトギス、ツツドリなどの夏鳥がやってきました。4月からいるキビタキやコサメビタキに加わって、賑やかな小鳥の森でした。

オス達は子育てを一緒にするメスを呼ぶために、競い合って「さえずり」を交わします。その美しい声は聞こえても、姿を見つけることは、若葉を茂らせた森の中では難しいものです。そのような時は、その場所に30分ほどじっとして、声のする方を見上げてみてください。歩きながら観察するよりも、鳥たちが枝から枝へと移動する姿を見つけやすくなります。止まった場所を確認できれば、双眼鏡でじっくり色や形を楽しむことができますよ。



サンコウチョウ



キビタキ



コサメビタキ

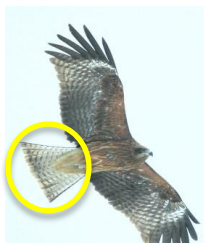
小鳥の森スタッフだより

～身近な猛禽類の見分け方～

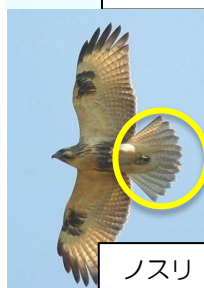
普段私たちが生活している環境の中で、何種類かの猛禽類（もうきんるい：ワシやタカの仲間）を見る事が出来ます。よく見る種類にトビ（トンビ）がいます。トビの特徴を覚えることが猛禽類を知る第一歩です。

その理由として、日本で見る事が出来る猛禽類でトビだけが、尾羽の形が「バチ型」だからです。

その他にも身近な猛禽類にノスリやオオタカなどがいます。これらの尾羽は「おうぎ型」です。双眼鏡やカメラがなくても、尾羽の形状の違いを覚えていくと、少しずつ猛禽類の事を知ることが出来ます。見つけた猛禽類の尾羽がどの様な形か見てみましょう。



トビ



ノスリ

(レンジャー 細井俊宏)

市民探鳥会が開催されました

5月7日（日）に小鳥の森を会場に、市民探鳥会が開催されました。日本野鳥の会ふくしまが主催で、バードウィークに合わせての開催でした。参加者数は会員も合わせて56人でした。

当日は、キビタキやオオヨシキリなどの夏鳥などはじめとして39種類の野鳥を観察することができました。

参加者からは「思ったよりたくさんの鳥が見られて良かった」「国の鳥キジ、福島県の鳥キビタキ、福島市の鳥シジュウカウの全てが見られて嬉しかった」といった感想が聞かれました。

朝の6時からとちょっと早目のスタートにも関わらず、多くの参加者に恵まれ、早起きした甲斐のある内容となりました。



市民探鳥会の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年6月号No.379／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま